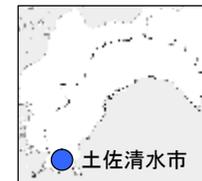


土佐清水市地域公共交通協議会

平成20年3月19日設置
平成21年3月16日連携計画策定



概要

本市の人口は昭和の大合併後をピークに減少し続け、今後も増加する要因は少ないと予想され、併せて高齢化も加速しており、今後においても高齢者が買い物や通院等、生活をして行く中で公共交通の需要は大きくなると考えられる。

現在運行している生活路線バスの存続、公共交通空白の解消に向けた課題、少子化による統廃合に伴う通園・通学バスのあり方など、今までそれぞれ個々に問題解決策を求めてきたが、過疎・高齢化が更に進行すると予想される。

そのため、本市の地域的あるいは経済的な環境分析、住民ニーズの把握から、将来にわたって市民の「生活の足」である「地域公共交通の確保」を図り、現状の交通を活性化し安心して住みつけられる土佐清水市独自の地域公共交通総合連携計画を策定するものである。

○交通空白地域の解消策

- ・フィーダー輸送の導入
- ・通学、通園バスの混乗、有効活用
- ・生活交通の為に貸し切りバス事業

○けんみん病院への直行便

- ・けんみん病院への直行便の運行

○待合環境施設整備

- ・停留所(屋根やベンチ)の改善

○域内観光周遊バスの実証運行

- ・期間限定で観光周遊バスを運行
- ・公共交通体験ツアーの実施
- ・イベント会場へのシャトルバスの運行

○運転免許返納サポート

- ・免許返納者へのタクシーや買い物の助成

○域内路線案内冊子の作成・配布

- ・住民も観光客も利用しやすく一目でわかる案内冊子の作成・配布

○バス利用促進の取り組み

- ・行政職員のバス利用
- ・マイバス意識の醸成
- ・バスの乗り方教室 など

